



全自動ミル付アロマコーヒーメーカー

品番：K-CM7

家庭用



もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6
コーヒー豆・粉と水の量の目安	7
使い方	8
お手入れのしかた	12
故障かなと思ったら	15
製品仕様	16

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて

 めれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。

 交流 100 V・定格 15A のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

 **注意**  使用后、電源コードを本体に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

 電源コードは温度の高くなる部分に近づけない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠️ 注意

❗ お手入れ時や使用していないとき、保管時は、電源プラグをコンセントからはずす。
火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートの原因となります。

❗ 電源コードはすべてほどいて使用する。
電源コードを束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

■ 本体の取り扱いについて

⚠️ 警告

⊘ 分解・改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。

本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用したりしない。
感電・けが・やけどの原因となります。

使用中や使用直後は本体に手を近づけない。
やけどの原因となります。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・火災の原因となります。

⊘ 使用中や使用直後は蒸気口に手や顔を近づけない。
やけどの原因となります。



カーテンなどの可燃物の近くやスプレー缶など破裂の恐れがあるものの近くで使用しない。
火災の原因となります。

異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。
火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



本製品は一般家庭用のため業務用として使用しない。
火災・故障の原因となります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上などに置いて使用しない。
火災の原因となります。

コンセントに接続しているときは、本製品のそばを離れない。
思わぬ事故の原因となります。

抽出中や抽出直後に本体ふたを開けない。
蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

弊社指定外の部品を使用しない。
誤作動して思わぬ事故の原因となります。

壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。

決められた容量以上のコーヒー粉や豆 (16g)・水 (200ml) を入れない。
コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。

水タンクが空のまま電源を入れない。
火災・故障の原因となります。

本体を落としたり、硬いものをぶついたりしない。
破損してけがや故障の原因となります。



破損や変形があるときは絶対に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

使用中は本体を移動させない。
故障・やけど・けがの原因となります。

本体の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。
火災の原因となります。



水のかからない場所に設置する。
感電の原因となります。

連続して抽出するときは、使用後5分待ってから、水タンクに水を入れる。

使用後すぐに水を入れると、蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

持ち運びやお手入れ、保管をするときは、本体が冷めてから行う。
火災ややけどの原因となります。

抽出するときは必ずバスケット、ミルふた、メッシュフィルター、ノズルを取り付ける。
取り付けない状態で抽出すると、湯がこぼれてやけどの原因となります。

ミルカッターの刃に触れないように注意する。
けがの原因となります。



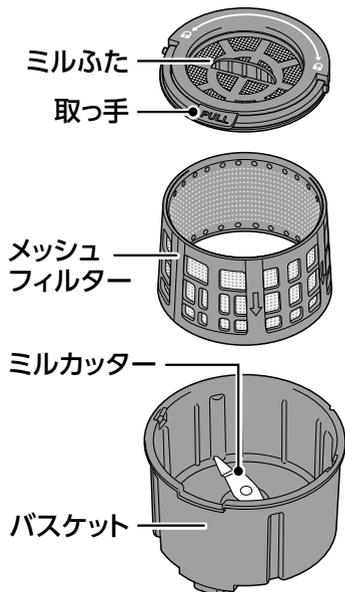
注意

使用上のご注意

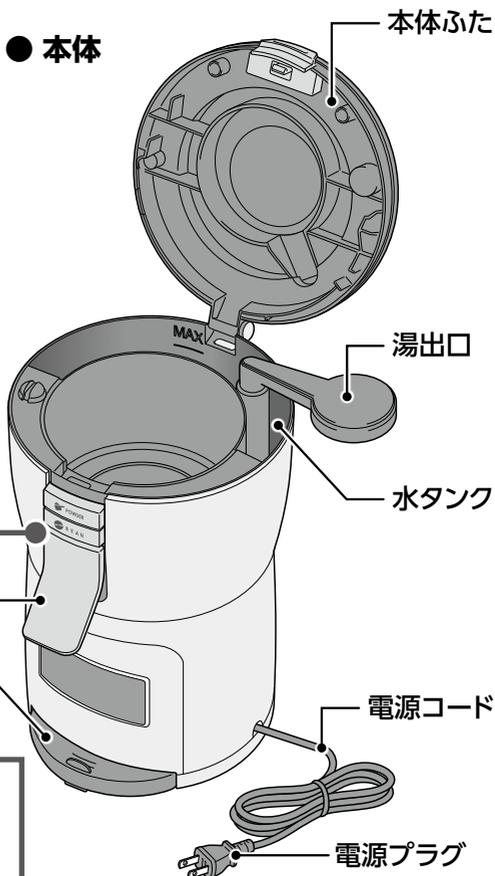
- はじめて使用するときは、バスケット、ミルふた、メッシュフィルターを水洗いしてください。
水洗いする際は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが 40℃以上のお湯でお手入れしないでください。
→ 12 ページ
- はじめて使用する時、または長い間使用していなかったときは、お湯のみで 1～2 回抽出し、内部を洗浄してください。
樹脂などのおいが気になる場合は、再度同じ手順で洗浄してください。
繰り返し洗浄する場合は、約 5 分間あけてから行ってください。
- 水タンクに水以外のものを入れないでください。
故障の原因となります。
- 豆と粉は同時に入れないでください。
コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因となります。
- お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。

各部の名称

ミルバスケット



● 本体



- 開くボタン**
本体ふたを開ける
ときに押します。
- POWDER ボタン**
コーヒー粉から
コーヒーを淹れる
ときに押します。
- BEAN ボタン**
コーヒー豆から挽い
てコーヒーを淹れる
ときに押します。

付属品

- 計量スプーン
(すりきり1杯で
約8g)



コーヒー豆・粉と水の量の目安

杯数	コーヒー豆の量	コーヒー粉の量	水の量	でき上がり量	所要時間
1杯	約 12g	約 12g	約 200ml	約 160ml	約 3.5分

※ 計量スプーンすりきり 1 杯 = 約 8g

所要時間について

- 所要時間は、コーヒー豆を使用する場合にかかる目安です。(コーヒー粉の場合は約 10 秒短くなります。)

でき上がり量について

- 水がコーヒー粉に吸収されるため、コーヒーのでき上がり量は多少減少します。
- ※ 室温、水量、コーヒー豆、コーヒー粉により、所要時間とコーヒーのでき上がり量は多少異なります。

コーヒー豆・粉を入れるときの注意

- コーヒー豆・粉の量はお好みにより調整してください。
- 本製品で使用できるコーヒー豆・コーヒー粉の最大量は 16g です。最大量を超える量を入れしないでください。
- コーヒー豆は焙煎度合いによって重さが変わるため、計量スプーンではなく、重量で量ってください。

お願い

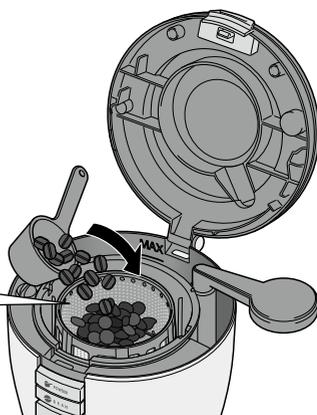
- コーヒー粉を使用する場合は、粗挽き・中挽きの粉を使用してください。細挽きのコーヒー粉を使用すると、メッシュフィルターが詰まり、本体内であふれたり、コーヒー粉が混入する原因となります。
- コーヒー豆やコーヒー粉をバスケットに入れるときは、できるだけならすように入れ、片側に寄らないようにしてください。コーヒー豆やコーヒー粉が片側に寄っていると、豆の挽きが不均一になったり、抽出したコーヒーの風味が損なわれる原因となります。

使い方

- 1 本体ふたとミルふたを開け、コーヒー豆またはコーヒー粉を入れます。

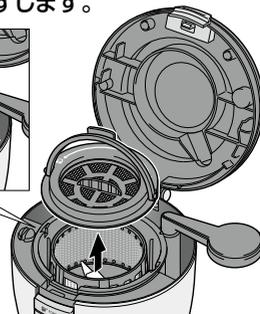
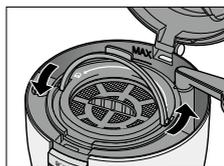
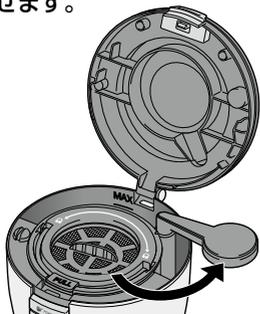
入れ終わったら、ミルふたを閉めます。

必ずメッシュフィルターを奥まで取り付けてください。



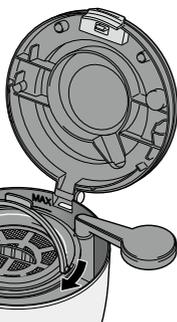
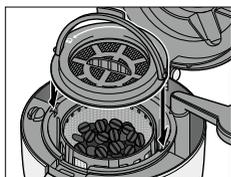
ミルふたの開け方

- ① 湯出口を図の方向に回転させます。
- ② ミルふたの取っ手を持ち上げ、反時計回りに回して、取りはずします。

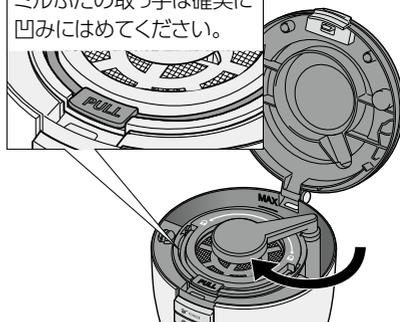


ミルふたの閉め方

- ① ミルふたの突起をバスケットの凹みに合わせて取り付け、時計回りに回して固定します。
- ② 湯出口を図の方向に回転させます。



ミルふたの取っ手は確実に凹みにはめてください。



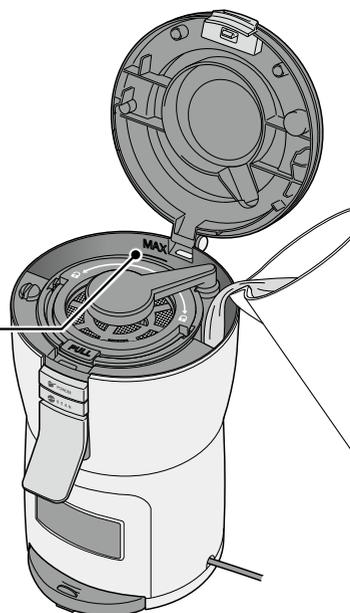
2 水タンクに水を入れ、本体ふたを閉めます。

本体ふたはカチッと音がするまで閉めてください。

お願い ●水タンクのMAXライン(200ml)以上に水を入れないでください。

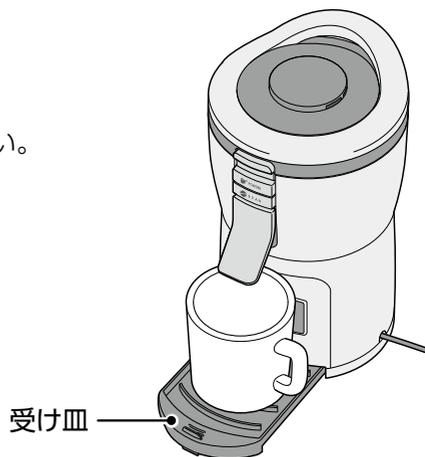


●蛇口から直接水を注がないでください。



3 受け皿を引き出し、コーヒーカップを置きます。

抽出量に応じたカップをご使用ください。
(最大抽出量 200ml)



4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

使い方 (つづき)

5 コーヒーを抽出します。

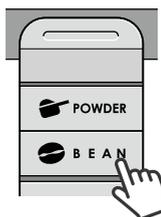
コーヒー粉の場合

- ① 「POWDER」 ボタンを押します。
「POWDER」 ボタンのランプが点灯します。
- ② お湯が沸いたら、抽出が始まります。

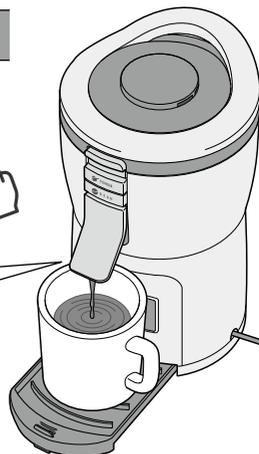


コーヒー豆の場合

- ① 「BEAN」 ボタンを押します。
「BEAN」 ボタンのランプが点灯します。
- ② ミルが約 10 秒間作動します。
- ③ お湯が沸いたら、抽出が始まります。



抽出するときは必ずノズルを正しく取り付けてください。



注意

抽出中や抽出直後は本体、ノズルに触ったり、蒸気口の近くに手を近づけないでください。

高温になっているので、やけどの原因となります。

コーヒーが落ちるときはコーヒーカップの形状により多少飛び散る恐れがあります。

続けてコーヒーを作る場合

本体が冷めるまで 5 分以上待ってから、再度 **1**～**5** の手順で抽出してください。



注意

連続して抽出するときは、抽出後 5 分待ってから、水タンクに水を入れてください。

抽出後すぐに水を入れると、蒸気が吹き出てやけどの原因となります。

抽出・加熱を途中で中止する場合

再度 「POWDER」 ボタンまたは 「BEAN」 ボタンを押します。

6 抽出が終了したら、
電源プラグをコンセントから抜きます。

ポイント

抽出後は、30～60秒ほど待ち、コーヒーが落ちきってからコーヒーカップを取ってください。

粉の量、粉の挽き具合、抽出量によってバスケットとメッシュフィルター内にお湯が残ることがあります。

本製品は保温機能が付いておりません。
抽出後は早めにお召し上がりください。

お手入れのしかた

使い終わったら、毎回お手入れをしてください。

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・ショート・やけど・火災の原因となります。



注意

- 十分に温度が下がってからお手入れをしてください。

やけどの原因となります。

- 本体に直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。

故障・やけど・火災の原因となります。

お願い

- 研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどを使用しないでください。

傷がついたり、変色したりする原因となります。

- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。

本体

本体外側

汚れたときは湿らせた布で拭きます。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

- 水タンクは取りはずしできません。



本体内側

本体が十分に冷めてから、以下の手順で抽出済みのコーヒー粉を捨てます。

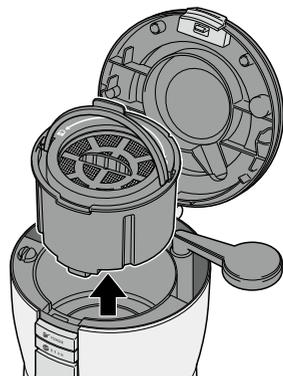
内側の汚れは湿らせた布で拭いてください。

- ① 本体ふたを開けます。
- ② 湯出口を回転させます。
- ③ ミルバスケットを取りはずします。
- ④ バスケット内のコーヒー粉を捨てます。

お願い

抽出済みのコーヒー粉はミルバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。

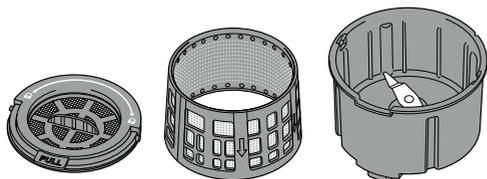
そのまま放置すると、カビや雑菌が繁殖する原因となります。



バスケット、ミルふた、メッシュフィルター

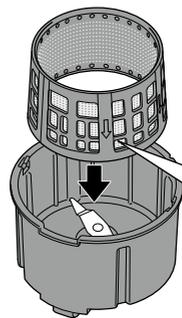
コーヒー粉を捨てた後、各部品に分離し、コーヒー粉を水で洗い流します。

- コーヒー粉が落ちにくい場合はブラシなどを使用してください。
- 洗った後は、水気を拭き取り、十分に乾燥させます。



メッシュフィルターの取り付け方

メッシュフィルターには向きがありますので、取り付けるときはご注意ください。



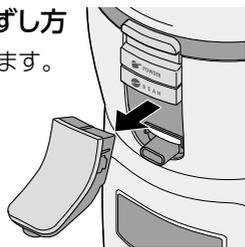
矢印の方向に取り付けます。

ノズル

取りはずして水でコーヒー粉などを洗い流します。

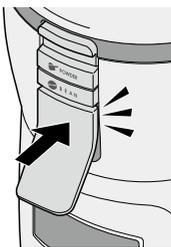
ノズルの取りはずし方

本体から引き抜きます。



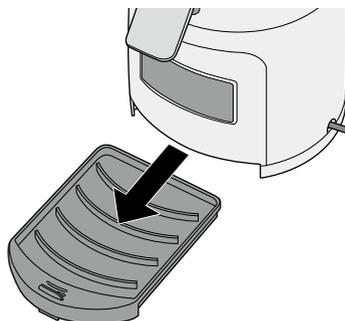
ノズルの取り付け方

カチッと音がするまで本体に差し込みます。



受け皿

取りはずして水で汚れを洗い流します。



お手入れのしかた (つづき)

定期洗浄 (石灰の除去)

- 半年に 1 回程度、定期的に行ってください。

使っているうちに、水に含まれる石灰成分が本体内部に付着します。
故障の原因となるため、定期的に石灰の除去をしてください。

- ① コップ 1 杯 (150ml) の水の中に小さじ 0.5 杯 (約 1.5 ~ 2g) の食酢を加えてよく混ぜます。
- ② ミルバスケットとノズルを取り付けます。
- ③ ①を水タンクに入れ、本体ふたを閉め、コーヒーカップを置きます。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、[POWDER] ボタンを押して電源を入れます。
- ⑤ 抽出が終わったら、電源を切り、コーヒーカップの湯を捨てます。
- ⑥ 5 分以上たってから、食酢のにおいが消えるまで、水だけで 2 回以上抽出をくり返します。

繰り返し抽出するときは、約 5 分間あけてから行ってください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
「BEAN ボタン」 「POWDER ボタン」 を押しても動かない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	本体ふたが閉まっていない。	カチッと音がするまで閉めてください。
	使用直後で粗熱がたまって いる。	粗熱が取れるまで待ってから(約5分)、再度ボタンを押してください。
抽出できない	水タンクに水が入っていない。	水を水タンクに入れてください。
	コーヒー豆・粉が入っていない。	コーヒー豆・粉を入れてください。
抽出時間が長い	本体内部に石灰などが付着している。	石灰などのよごれが付着すると、水の流れが悪くなります。定期洗浄を行ってください。(→ 14 ページ)
水が漏れる	水タンクに水を入れ過ぎて いる。	水は MAX ライン (200ml) 以上入れ ないでください。(→ 9 ページ)
	ミルふた、メッシュフィル ター、バスケットが正しくセッ トされていない。	ミルふた、メッシュフィルター、バス ケットが正しくセットされているか確 認ください。
	コーヒー豆・粉を入れすぎ ている。	最大量 (16g) を超える量を入れな いください。
	細挽きのコーヒー粉を使用 している。	粗挽き・中挽きのコーヒー粉を使用 してください。

長期間ご使用の全自動ミル付アロマコーヒーマーカーは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかつたりする。
- ・ そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 全自動ミル付アロマコーヒーメーカー
品番	K-CM7
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	500W
水タンク容量	200ml
電源コード長	約 0.8m
本体寸法	約 132(W) × 234(H) × 168(D)mm
重量	約 1,255g
抽出方式	ドリップ式
コーヒーミル最大容量	16g
生産国	中国
付属品	計量スプーン、ユーザーズガイド（保証書含む）

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は、(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。